

## アクティベーション（ライセンス認証）について

スタンドアロン版は、初回起動時および、ご利用を開始してから一定期間経過すると、インターネット経由で認証サーバへアクティベーション（ライセンス認証）を行います。セキュリティが強固なネットワーク環境下ではアクティベーションサーバとの接続がブロックされ、アクティベーションできない場合があります。本テキストでは、このような環境下における対処方法についてご説明いたします。

これらの作業はネットワーク設定に関わりますので、あらかじめネットワーク管理者様にファイアウォールやプロキシサーバ用の設定についてご確認いただきますようお願い申し上げます。

### ■ファイアウォール環境の設定

以下のポート番号を、全てのフィルタ/ルータ/ファイアウォール上で解放してください。

Port 80 (UDP and TCP)

### ■プロキシサーバ用の設定

以下の手順を参考に、プロキシサーバ環境用の設定ファイル「VWProxy.txt」を作成し、Vectorworksを利用するマシンの所定の場所へ保存してください。

#### 【ご注意】

サポートされているプロキシサーバの種類は HTTP のみとなります。

\*Socks 上では Vectorworks をお使いいただくことはできません。

### ■作業手順

1. 「プロキシ環境でご使用の方へ」フォルダ内の「VWProxy.txt」をデスクトップ等へコピーしてください。
2. 「VWProxy.txt」を開き、ご利用環境に合わせて以下のように書き換えてください。  
(設定を行うための情報は、ネットワーク管理者様へお問い合わせください。)

・ address XXX.XXX.XXX.XXX (2 行目)

XXX…の箇所に、ご利用環境のプロキシサーバのアドレスをご入力ください。

(IP アドレス、もしくはドメインアドレスをご入力ください。)

・ port XXXX (3 行目)

XXXX の箇所に、ご利用環境のプロキシサーバのポート番号をご入力ください。

(外部接続用に設けられているポート番号をご入力ください。)

- ・ #username XXXX
- ・ #password XXXX (末尾 2 行)

プロキシサーバを利用する際にユーザ名とパスワードが必要な場合は、上記 2 項目の冒頭#を外し、XXXX の箇所に必要なユーザ名とパスワードをご入力ください。

(必要がない場合は、「#」は外さないでください。)

3. 上記の設定が完了しましたら、ファイルを上書き保存してください。

※ macOS/OS X 環境でテキストエディットを使用している場合は標準テキスト（プレーンテキスト）形式で保存してください。

(本ファイルは、リッチテキスト形式には対応していません。)

4. 「VWProxy.txt」を、所定の場所へ保存します。

※ VWProxy.txt ファイルを以下の『Vectorworks』フォルダ直下に配置してください。

(各バージョン用のフォルダ内ではありません。)

#### Windows 10/8.1/8 の場合：

「C ドライブ (ローカルディスク C)」 > 「Users」 > 「(ユーザ名フォルダ)」 > 「AppData」  
> 「Roaming」 > 「Nemetschek」 > 『Vectorworks』フォルダ内

#### macOS/OS X の場合：

「Macintosh HD」 > 「ユーザ」 > 「(ユーザ名フォルダ)」 > 「ライブラリ」  
> 「Application Support」 > 『Vectorworks』フォルダ内

5. Vectorworks を起動し、アクティベーションが可能か確認してください。

#### ■その他

Vectorworks を利用するマシンに、OS やセキュリティソフト等によるパーソナルファイアウォールが設定されている場合、Vectorworks のアクティベーションが阻害される場合があります。

このような場合は、パーソナルファイアウォール側にて、例外ルールに Vectorworks を登録するなど、インターネットを通じてアクティベーションが行えるよう設定を行ってください。

パーソナルファイアウォールの設定手順等につきましては、OS メーカーやセキュリティソフトメーカーへお問い合わせください。

以上

エーアンドエー株式会社

2019.11.22